

人間をみがく！



特別編

「生々流転」



長のものです。実は、この作品も先ほどの平和の像と同じく日高正法さんの制作によるものです。

学園創設以来今年で95年になりますが、今年3月には滝井高校が75期生の卒業を最後に閉校となりました。校舎の解体工事がいよいよこの11月から始まり、懐かしい思い出の校舎が消えてしまいますが、少しでもその歴史と伝統を受け継ぐために、今回本校への移設が決まりました。これら3体の像のほかにも、滝井高校の正門から玄関までに植えてあったハナミズキの木も一部校内に移植しました。来春にはきれいな花を咲かせてくれることでしょう。

食堂と美術棟の間の大枝公園側に大きな像が設置されました。これは滝井高校の屋上に設置されていた「平安の像」がこのたび校舎の解体に伴い移設されました。作者は有名な芸術家・日高正法さんです。1967年に設置されてから75年にわたり、滝井高校の屋上で大空高く手をかざした女性の像ですが、「あまりにも現実的な現代において、生命への復帰を願う祈りの像であり、またこの学園に学び果立つ人々に平和への使徒であることを願つたものである」と制作者の日高さんはこの作品への思いを語つておられました。



一方、大和田中学校高等学校の校地にも変化がありました。この夏に体育館のフロアの工事とグラウンドの人工芝化です。100mの

エントランスに設置された2体の胸像ですが、学園一代目理事長の故奥田政三理事長とその夫人である故奥田せつ元帝国学園幼稚園

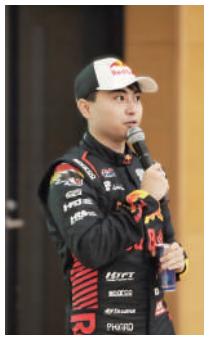
直線トラックも整備されました。主として大学生が使用しますが、本校の一部のクラブでも使用しています。

このように、新校が開校する前の滝井と大和田のそれぞれのキャラクターが別の形で生まれ変わろうとしています。そしてその歴史と伝統が本校に引き継がれつつあります。まさに「生々流転」というべきでしょうか。

「生々流転」というのは、生きているすべてのものは生まれ変わりを繰り返し命をいつまでももう少しだけ生き残る考え方で、絵画、小説や歌のタイトルにもなっています。また、宗教や哲学の用語で見る「輪廻」という言葉にも似ています。



そして、つい最近ですが、大和田高校の卒業生でプロのカーレーサーである岩佐歩夢さんが本校に来校され、後輩である在校生に対して講演をしていただききました。現在F1レーサーをめざしており、そのための登竜門でもある全日本スーパー



フォーミュラ選手権に本校生徒を招待してくれました。約90名の生徒と教員が貸し切りバス2台に分乗し鈴鹿サーキットまで応援に駆け付けました。結果は予選で思うようなレースができず11位で決勝レースに臨み、最終的に7位まで順位を上げました。レース後にルーキー賞を受賞し、来年度に向けて歩み続ける姿は、きっと

大和田中高時代から国際中高へ新しい学校として開校して以

ての活躍がさらに期待されるところです。岩佐選手の「夢に向かって歩み続ける姿」は、きっと引き継がれていくことでしょう。



来3年目を迎えた本校ですが、その1期生がいよいよ来年3月に卒業を迎えます。卒業後は、滝井高校を卒業した撫子会会員約2万5千人、大和田高校を卒業した三窓会会員約1万9千人に加えて、同じ大阪国際学園内の中学校高等学校の同窓会のメンバーとして新たな歴史を刻んでいくことになります。本校の同窓会の新たな名称は未定ですが、撫子会、三窓会とも交流を深めながら活動を行う予定です。

大阪国際中学校高等学校 Instagram・X はりきって更新中!



国際中高 インスタグラム

学校ウェブサイトで活発に展開している“Voyage”の情報を中心に、本校のさまざまな活動や行事、クラブ活動などを発信していきます。ぜひフォローしてくださいね!



募集広報部 X(旧ツイッター)

個別相談や中学授業体験会、高校オープンスクールなど、募集イベント関連の情報を随時アップしていきます!

